

(新)「みんなで学ぶネットモラル」支援事業

背景

当初予算主要事業 教育委員会 1頁 人権・同和教育室(224-2732)【予算額3,906千円】

- 情報化社会の進展や携帯電話等の普及により、インターネット上での個人への誹謗中傷によるいじめなど、容易に子どもが加害者にも被害者にも成り得る危機的な状況が日常的にみられる。
- 昨年の警察庁の統計によると、出会い系サイト関連事件は、前年より21.1%増加しており、その被害者の約半数を高校生が占めている。

事業概要

学校での取組

人権学習教材「わたしかがやく」改訂版の作成

[主な内容]

- ・“インターネットと人権”に関する課題
- ・出会い系サイト等による犯罪被害の予防啓発
- ・メディアリテラシー 等

既存教材(DVDやインターネット教材)の活用

- ・教材を用いた授業
- ・公開授業や懇談会を利用した保護者の参画

- ・インターネット等の利活用の際も「自分の人権を守り、他者の人権を守ろうとする意識・意欲・態度」の育成
- ・インターネット上の人権侵害によるいじめ・不登校等の未然防止

公開討論会(シンポジウム)の開催

- ・学校の実践報告・意見交換 ・人権学習教材監修者等によるパネルディスカッション
- ・人権教育推進協議会(保護者等)からの意見発表 等

保護者・地域住民への情報発信

教職員のスキルアップ

ネット社会のみならず実社会においても「自分の大切さと共に、他の人の大切さを認めること」ができるようになり、それが様々な場面や状況下での具体的な態度や行動に現れるとともに、人権が尊重される社会づくりに向けた行動につながる